



2024年12月期 上期 決算説明会

株式会社 堀場製作所

足立 正之 代表取締役社長

2024年8月9日

説明内容

- 2024年12月期 上期 決算概要
- 2024年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- トピックス

< 免責事項 >

本プレゼンテーション資料には、株式会社堀場製作所の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。また経済動向、他社との競争状況、為替レートなどの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

説明内容

- 2024年12月期 上期 決算概要
- 2024年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- トピックス

2024年12月期 上期の振り返り

外部環境

- ◆ 不透明な各国の金融政策動向による先行き不安定な為替相場
- ◆ 選挙イヤーによる世界情勢の変化や地政学リスクの高まり
- ◆ 生成AI・データセンターへの投資増加による半導体需要の牽引
- ◆ 水素やアンモニアや合成燃料等を活用したGX※関連投資の拡大

内部状況

- ◆ 3フィールドでのオペレーションが加速
- ◆ 生産プロセスでの計測制御アプリケーションに注力
- ◆ 水素等の新エネルギー・ライフサイエンスへの供給体制の強化

※グリーントランスフォーメーション

2024年12月期 上期連結実績

(単位：億円)

	2023年	2024年		増減	
	上期実績	前回予想 (5/14)	上期実績	対前年	対前回予想
売上高	1,311	1,500	★ 1,427	+116	▲72
営業利益	178	210	★ 186	+7	▲23
営業利益率	13.6%	14.0%	13.0%	▲0.6p	▲1.0p
経常利益	181	214	★ 192	+11	▲21
親会社株主に帰属する中間純利益	190	150	131	▲ 58	▲18
USドル（円）	135.00	145.00	152.36	+17.36	+7.36
ユーロ（円）	145.93	160.00	164.70	+18.77	+4.70

※前回予想：期首予想より変更なし

★：過去最高

2024年12月期 上期連結実績（セグメント別）

（単位：億円）

	売上高						営業利益					
	2023年	2024年		増減			2023年	2024年		増減		
	上期実績	前回 予想 (5/14)	上期実績	対前年	対前回 予想		上期実績	前回 予想 (5/14)	上期実績	対前年	対前回 予想	
自動車	305	460	★ 386	+80	▲73		▲21	5	▲11	+9	▲16	
環境	113	150	★ 117	+3	▲32		9	10	1	▲7	▲8	
医用	155	170	★ 163	+7	▲6		1	0	▲4	▲6	▲4	
半導体	562	530	★ 572	+10	+42		186	190	★ 202	+15	+12	
科学	174	190	★ 187	+13	▲2		2	5	▲1	▲3	▲6	
合計	1,311	1,500	★ 1,427	+116	▲72		178	210	★ 186	+7	▲23	

※前回予想：期首予想より変更なし

★：過去最高

2024年12月期 上期連結実績（B/S、CF）

B/S

- ◆総資産は、棚卸資産の増加などにより、203億円増の4,693億円
- ◆自己資本比率は64.6%

（2023年12月末比）

CF

- ◆利益計上などにより、営業CF： +99億円
 - ◆設備投資などにより、投資CF： ▲43億円
 - ◆配当金の支払、自己株式の取得などにより、財務CF： ▲97億円
- フリーCF： +55億円

説明内容

- 2024年12月期 上期 決算概要
- 2024年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- トピックス

HORIBAから見た市場環境の想定

全般		先行きの不透明な為替相場と複雑化する国際情勢に引き続き懸念 補助金等を活用した設備投資需要は強く、経済活動は緩やかな成長が継続
自動車		BEVからハイブリッドまで様々な動力源の車両開発が加速 欧州での排ガス新規制導入を見据えた内燃機関の開発投資需要に期待
環境		GX関連投資が加速するなか、新エネルギー市場でのビジネス拡大を期待 欧州などでの環境規制対応等の公共投資停滞
医用		検査試薬販売が堅調に推移するが、日本での流通在庫調整の影響がのこる インドなどの成長市場での機器試薬販売は堅調
半導体		生成AI・データセンター向けの投資が加速し、DRAM関連での需要が拡大 NAND市場の早期投資拡大に期待
科学		様々な産業における開発および製造プロセス向け計測・分析機器が堅調 ライフサイエンス市場での需要拡大を期待

2024年12月期 業績予想

(単位：億円)

	2023年	2024年		増減	
	実績	前回予想 (5/14)	今回予想 (8/8)	対前年	対前回予想
売上高	2,905	3,210	★ 3,210	+304	-
営業利益	472	520	★ 520	+47	-
営業利益率	16.3%	16.2%	16.2%	▲0.1p	-
経常利益	482	527	★ 527	+44	-
親会社株主に帰属 する当期純利益	403	370	370	▲ 33	-
USドル (円)	140.67	145.00	145.00	+4.33	-
ユーロ (円)	152.11	160.00	160.00	+7.89	-

※前回予想：期首予想から変更なし

★：過去最高

2024年12月期 業績予想（セグメント別）

（単位：億円）

	売上高					営業利益				
	2023年	2024年		増減		2023年	2024年		増減	
	実績	前回予想 (5/14)	今回予想 (8/8)	対前年	対前回予想	実績	前回予想 (5/14)	今回予想 (8/8)	対前年	対前回予想
自動車	804	940	★ 940	+135	-	12	30	30	+17	-
環境	249	315	★ 315	+65	-	24	30	25	+0	▲5
医用	326	345	★ 345	+18	-	6	10	5	▲1	▲5
半導体	1,128	1,190	★ 1,190	+61	-	405	420	★ 435	+29	+15
科学	396	420	★ 420	+23	-	24	30	25	+0	▲5
合計	2,905	3,210	★ 3,210	+304	-	472	520	★ 520	+47	-

※前回予想：期首予想から変更なし

★：過去最高

説明内容

- 2024年12月期 上期 決算概要
- 2024年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- トピックス

2024年上期実績/通期予想

2024年上期実績

※1 Mechatronics（自動車計測機器）
※2 Engineering Consultancy & Testing
（自動車開発全般に関するエンジニアリング・試験）

【排ガス】

- ・日本・米州を中心にエンジン排ガス装置の販売が増加

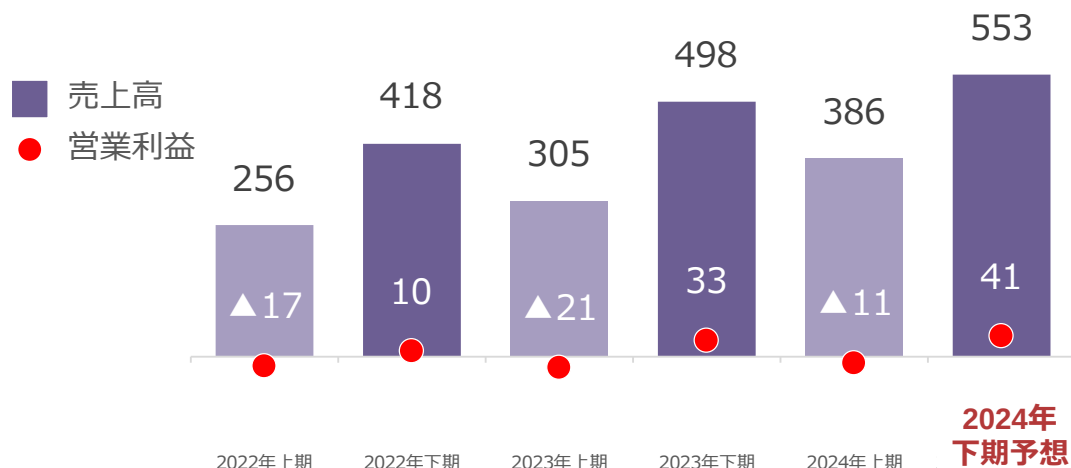
【MCT（FC/battery除く）※1・ECT※2】

- ・EVでのE-Motor等の高付加価値案件の販売や試験需要増加

【MCT（FC/battery）】

- ・幅広い仕様、高度な仕様の製品のニーズに対応
→ エンジニアリング工数が増加、収益性好転時期が遅延

売上高・営業利益推移（上期/下期）（億円）



2024年通期予想/中長期見通し

【排ガス】

- ・BEV市場の成長率鈍化により、ハイブリッド車等の内燃機関開発設備の更新 → 中期的な受注拡大を期待

- ・Euro7等の各国の排ガス新規制導入による需要拡大

【MCT（FC/battery除く）・ECT】

- ・BEVからハイブリッド対応まで試験需要が増加

【MCT（FC/Battery）】

- ・キープレーヤーとの連携推進→収益改善の取り組みを加速

自動車セグメント トピックス

ロボットドライバー

- ・人間には対応困難な連続走行試験（8時間以上）を実現



FC/Batteryビジネスの状況

カーボンニュートラルの実現に重要な役割を担う水素
将来の水素活用拡大に向けて、お客様とともに高度な技術革新にチャレンジ



2022年6月に稼働した
燃料電池・水電解・バッテリー評価装置の研究開発／生産拠点

評価装置のラインアップ
測定対象

- 燃料電池 (PEM, SO)
- 水電解 (PEM, SO, ALK)
- バッテリー



外部環境：市場形成途上。「一番良い」水素製造法確立のため、実証試験が加速

課題：収益改善遅延

外部要因：要求仕様の多様化や高度化
内部要因：エンジニアリング工数増による
生産システム安定化遅延

対策

対外部要因：顧客キープレーヤーとのより密な
コミュニケーション確立による仕様選定
対内部要因：エンジニアのスキルアップと生産プロセス改善
グループ内でのノウハウの共有

2024年上期実績/通期予想

2024年上期実績

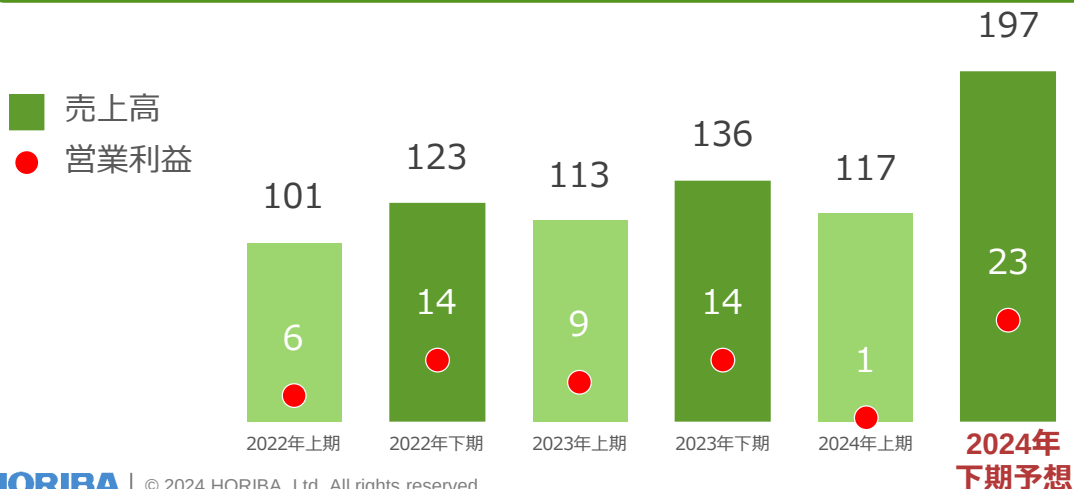
【ガス計測】

- ・ GX投資拡大によりプロセス計測制御機器の販売が加速
- ・ 海外での大型案件が納期調整により下期にずれ込む
- ・ 欧州での環境規制対応等の公共投資停滞により販売減

【水質計測】

- ・ 半導体工場における純水計測や排水モニタリングシステムの販売増
- ・ 環境規制対応で水質計測機器の需要堅調

売上高・営業利益推移（上期/下期）（億円）



2024年通期予想/中長期見通し

※ Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage
(二酸化炭素回収・有効活用・貯留)

【ガス計測】

- ・ 電子デバイス産業での需要増加を見込む
- ・ 新エネルギー対応やCCUS ※関連によるガス計測の需要増加に期待

【水質計測】

- ・ 電子デバイス産業での純水計測や排水の環境規制対応による需要増加に期待
- ・ 2023年度に買収した水質計測関連ビジネスのインド市場拡販

環境セグメント トピックス

自動「水道」水質測定

- ・ 測定項目ごとに着脱可能なモジュール
→現場での校正時間を半減。



～安全安心な水を守る現場の人手不足解消に貢献～

※当社従来製品との比較。使用方法や条件によって効果が異なる場合があります

2024年上期実績/通期予想

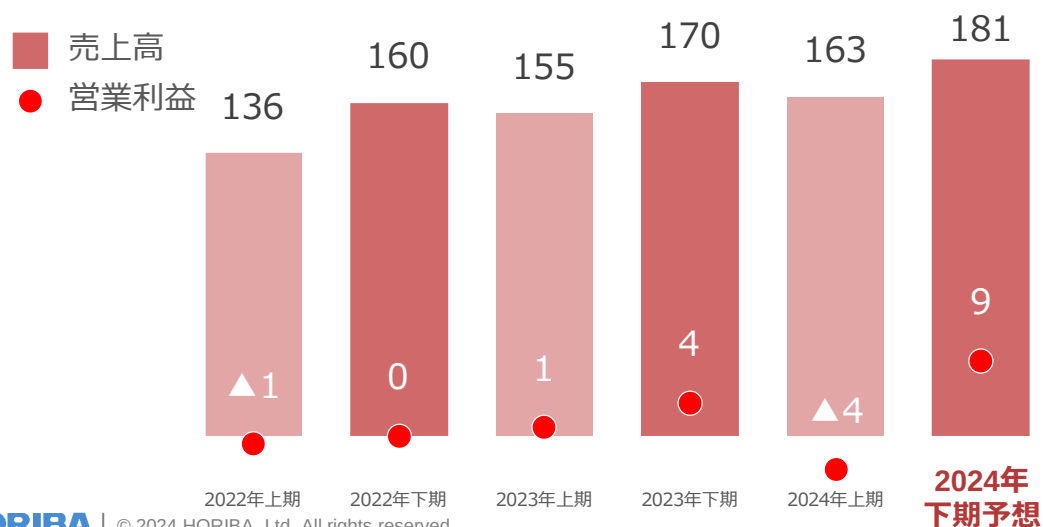
2024年上期実績

- 試薬販売は増加するものの、日本市場では血球計数装置の販売が減少
- インドなどの成長市場での血球計数装置・生化学検査装置の販売が堅調に推移
- 欧州でのシーメンス向け血球計数装置及び試薬の供給も継続して進行

2024年通期予想/中長期見通し

- 日本国内およびインドなどの成長市場での新製品投入
→ 機器販売の増加と検査試薬販売の増加を期待
- 自動血球計数装置のFDA認証取得
→ 米国および成長市場での展開に期待
- 免疫や生化学分野など、血球計数分野以外でのさらなるビジネス拡大をめざす

売上高・営業利益推移（上期/下期）（億円）



医用セグメント トピックス

白血球5分類とESR ※の同時計測機器

※赤血球沈降速度

- 炎症性疾患評価のためのラインアップを拡充



自動計測・採血管オープン/クローズドなどラインアップ充実
～成長市場での販売を加速～

2024年上期実績/通期予想

2024年上期実績

※1 High Bandwidth Memory
※2 マスフローコントローラー

- DRAM、HBM ※1関連投資が牽引し、需要拡大 [MFC ※2/薬液]
- アジアでの半導体製造装置需要増加で販売増 [MFC/薬液]
- 車載向けなどのパワー半導体向けは軟調な推移 [MFC]
- 太陽光パネルや人工ダイヤモンド製造向けは調整局面
(中国・インドなど) [MFC]

2024年予想/中長期見通し

NAND市場：設備投資需要は2025年に向け拡大を期待

足元ではデータセンター向けNAND投資が加速

DRAM市場：HBM の牽引により市場拡大

エッチング等のプロセス増加による販売増加を期待

ロジック市場：引き続き堅調に推移

デバイス構造が複雑化するため、微量ガス制御ができる

ハイエンド製品の需要増を期待

既存主力製品に加え、分光技術を用いた半導体製造プロセス全体でのセンシングビジネス領域の拡大を継続

半導体セグメント トピックス

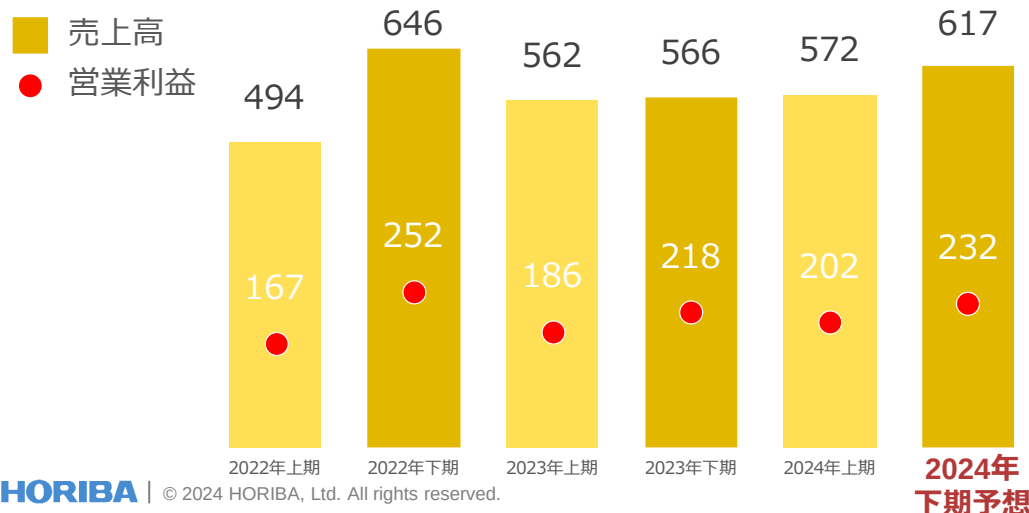
レーザーガス分析計

- 半導体プロセス制御向け
量子カスケードレーザーを自社開発
→チャンバ内センシング技術の高度化に寄与

～エッチングプロセスの終点計測における微量ガスを迅速に測定～



売上高・営業利益推移（上期/下期）（億円）

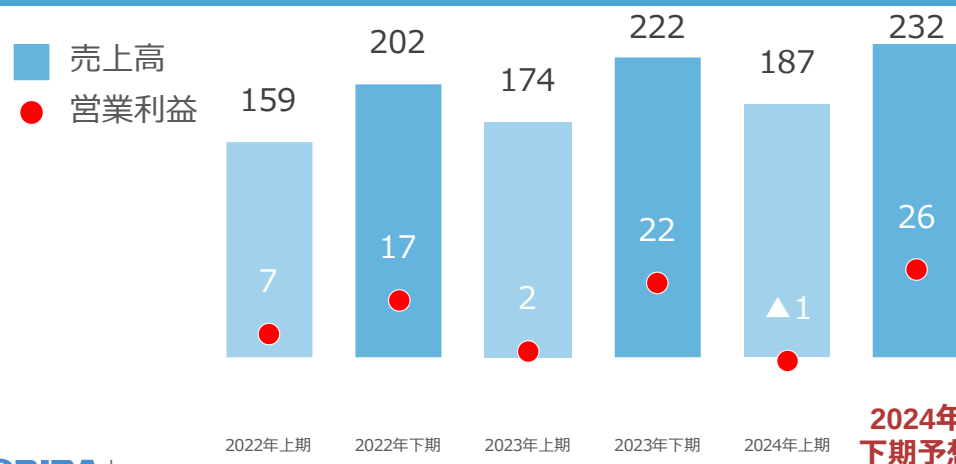


2024年上期実績/通期予想

2024年上期実績

- 先端材料開発やライフサイエンス市場へのアプローチ
→ ラマン分光分析装置/粒子径分布測定装置/蛍光X線分析装置などの販売増加
- 半導体製造装置メーカー向けなどの光学モジュールの販売減
- 生産プロセス向け新製品開発が加速
→ 医薬品・電池材料・電子部品などのプロセス管理としてのアプリケーション開発が活性化

売上高・営業利益推移（上期/下期）（億円）



2024年予想/中長期見通し

- 最先端の研究開発向け製品の拡販
- 生産プロセス評価やモニタリングビジネスを拡大
- ライフサイエンス分野（製薬など）や半導体市場の製造プロセスに特化した製品開発とグローバルに展開
- 半導体市場の回復による、半導体製造装置メーカー向けなどの光学モジュールの販売増加を見込む

科学セグメント トピックス

インラインX線モニタリング装置

- 材料評価、各種試験の自動化
- 生産工程での最適化を支えるソリューション

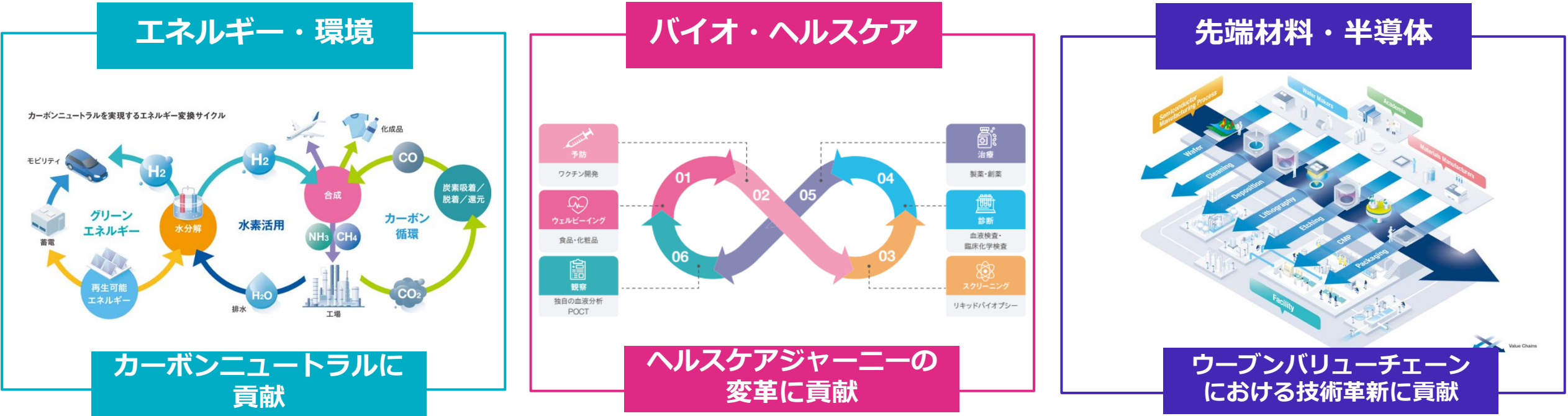


～コンデンサ等の電子部品の生産性向上に貢献～

説明内容

- 2024年12月期 上期 決算概要
- 2024年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- トピックス

MLMAP2028 における3フィールドでのトピックス



2025年度より5セグメントから3フィールドでの開示に変更予定

自動車

環境

医用

半導体

プロセス

科学

半導体膜厚計測ソリューションを強化

ウェハ・フォトマスクの薄膜分析自動化装置の需要拡大

HORIBA独自のコア技術を自動測定装置に搭載 非破壊・非接触での自動測定を実現



表面薄膜自動測定装置（イメージ）

コア技術をセンサーとして搭載



顕微ラマン分光装置



分光エリプソメーター

HORIBA独自の 計測ソリューション

薄膜計測 結晶化率
欠陥分析 光学特性
組成分析・均一性評価
応力分析

R&Dでのアプリケーションを産業プロセスに応用した
ユニークな自動測定ソリューションが拡大

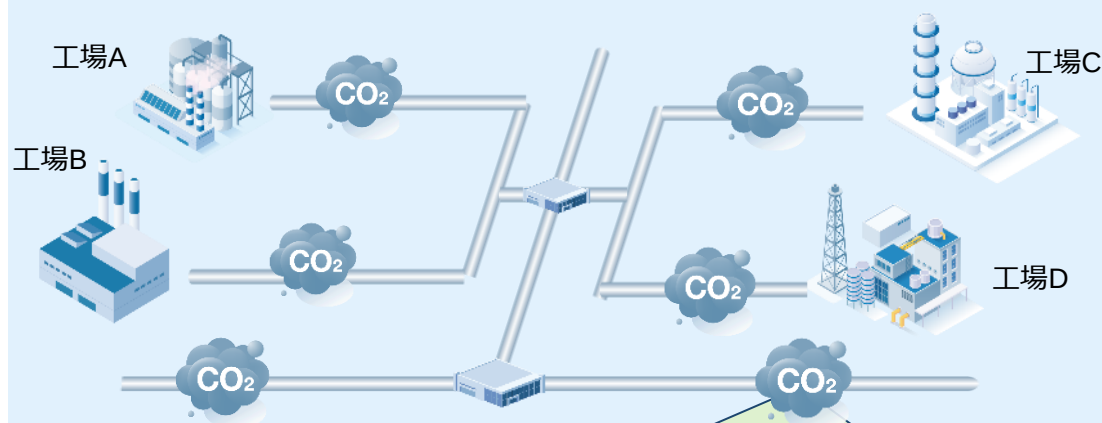
サステナビリティ～CO₂低減とEV開発への貢献

CO₂の分離・回収・貯蔵の技術革新を支援

サステナ関連投資が実証フェーズに入り CCUSアプリケーションでの需要が拡大

- ✓ パイプライン内のCO₂の品質確認のため、CO₂中の微量な不純物の高感度計測需要が高まる

「CCUS Hub」イメージ（CO₂貯留施設を共有）



微量ガス
分析計



レーザーガス分析計
自社開発の量子カスケード
レーザーを搭載



EV車両開発の熱マネジメント評価を迅速化

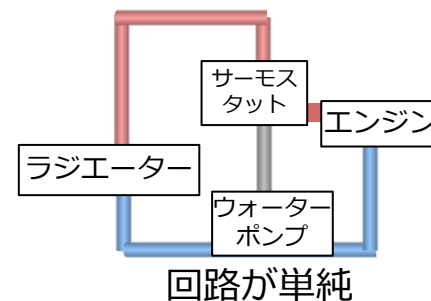
*ICE : Internal Combustion Engine



エンジン搭載



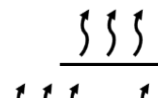
熱をうまく
「捨て」たい



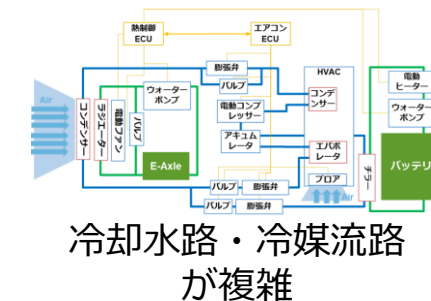
*BEV : Battery Electric Vehicle



エンジン無し



熱をうまく
「使い」たい



「熱マネジメントシステム評価装置」

バッテリーEV開発での熱マネジメントの重要性は...

実航続距離、急速充電時間に大きく影響

医用ビジネス～製品力と供給力の強化

自動血球計数装置～米国FDA認証を取得

2024年5月 FDA認証取得、全世界で拡販加速



FDA認証取得を祝うHORIBA ABX社（仏）メンバー

自動血球計数装置 YH-2500

（機能）白血球・赤血球・血小板等の自動計測装置

（対象）大病院・検査センター

血球計数＋白血球5分類
1時間に120検体を迅速測定



バイオ医薬品開発・品質管理の効率化に貢献

市場ニーズ：

（分野）バイオ医薬品の研究開発、品質管理
（期待）前処理不要での非破壊測定

HORIBA提案：

独自のソリューションで開発・生産の効率化を実現

～迅速・安全な医薬品提供に貢献～

HORIBA独自の分析技術 X 顧客要求を実現するエンジニアリング力 X 市場要求基準に準じるソフトウェア



プロセスラマンシステム

・バイオ医薬品の生産プロセスにおける細胞などのリアルタイム監視

～非接触・非破壊・迅速検査を実現～

HORIBA英国ビジネスの近況 ～King's Award受賞～

ホリバMIRA社が英国ビジネスで最も栄誉ある“The King's Award”を
「持続可能な発展」部門で受賞



【評価のポイント】
開発のバーチャルシミュレーション推進と
GHG*排出低減を実現した試験サービス運営



チャールズ国王と、ホリバMIRA社社長
デクラン・アレン

～CO2削減を実現する高効率な試験施設運営により、顧客のカーボンニュートラル実現に貢献～

Omoshiro-okashiku
Joy and Fun

おもしろ可笑

THANK YOU

Terima kasih 谢谢
Gracias
Tack ska du ha
Danke
Grazie
Σας ευχαριστώ πάρα πολύ
धन्यवाद
شُكْرًا
ขอบคุณครับ
Большое спасибо
Obbrigado
Cảm ơn
Merci
감사합니다
ありがとうございました
Dziękuję



2024年12月期上期 決算説明会 ～決算詳細説明～

株式会社 堀場製作所

ジュニアコーポレートオフィサー、財務法務本部 副本部長

多鹿 淳一

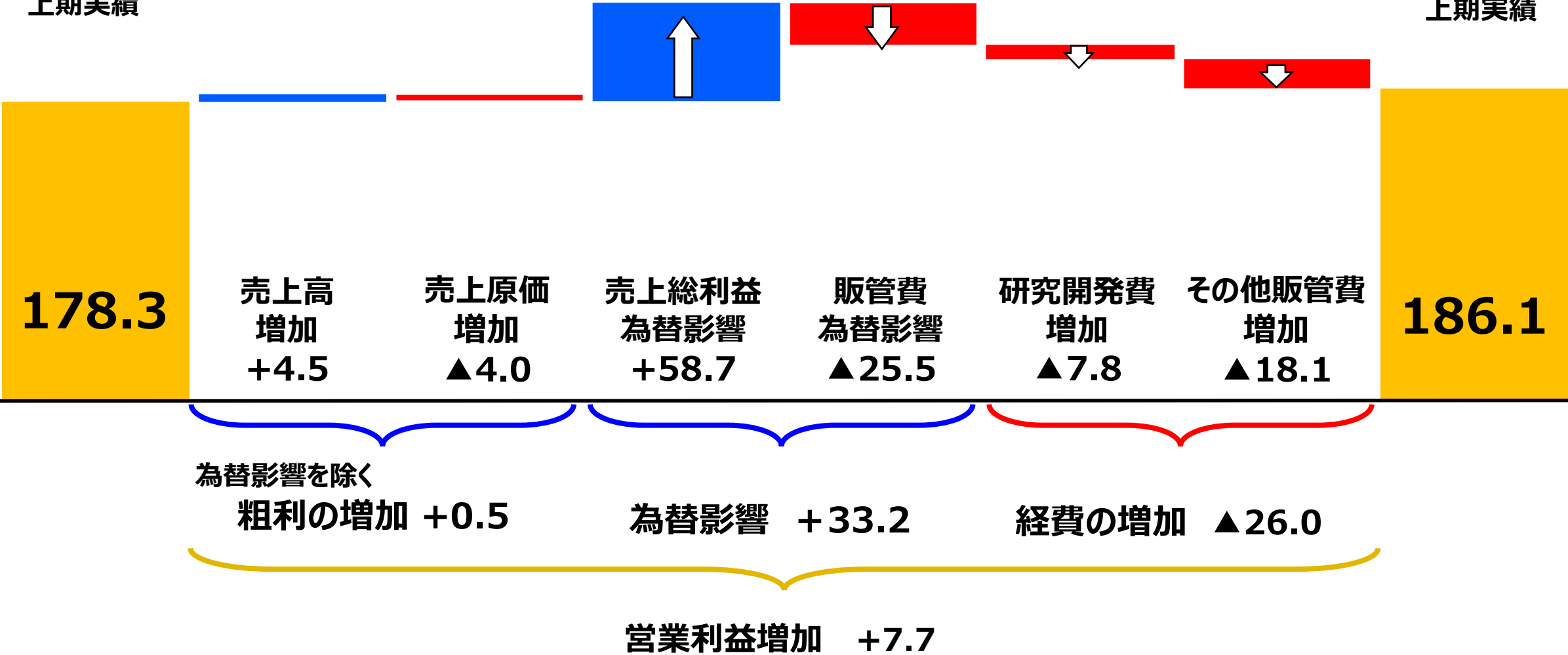
2024年8月9日

営業利益分析

(単位：億円)

2023年
上期実績

2024年
上期実績



営業外損益

(単位：億円)

	2024年上期
売上高	1,427.2
営業利益	186.1
経常利益	192.6
親会社株主に帰属する 中間純利益	131.4



	2024年上期	2023年上期
営業利益	186.1	178.3
金融収支	9.6	5.2
為替差損益	▲ 3.1	▲ 3.7
助成金収入	0.2	0.1
その他	▲ 0.3	1.1
営業外収支戻	6.5	2.8
経常利益	192.6	181.2

特別損益・法人税等

(単位：億円)

	2024年上期
売上高	1,427.2
営業利益	186.1
経常利益	192.6
親会社株主に帰属する 中間純利益	131.4

	2024年上期	2023年上期
経常利益	192.6	181.2
固定資産売却益	0.1	0.1
固定資産除却損	▲ 0.2	▲ 0.2
関係会社株式売却益	-	62.9
その他	▲ 0.0	▲ 0.2
特別損益戻	▲ 0.1	62.5
税金等調整前中間純利益	192.4	243.8
法人税等 など	▲ 61.0	▲ 53.7
親会社株主に帰属する 中間純利益	131.4	190.0

為替推移／想定レート／影響額

	2023年	2024年				
	通期	前回予想 (5/14)	実績	上期実績	通期予想	対 前年(通期)
			1Q			
USドル	140.67	145	148.63	152.36	145	+4.33
ユーロ	152.11	160	161.33	164.70	160	+7.89

2024年1-6月 為替影響額（前年同期比）

（単位：億円）

売上高の増加	+ 111.5
売上原価の増加（逆符号）	▲ 52.7
売上利益の増加	+ 58.7
販売費及び一般管理費の増加（逆符号）	▲ 25.5
営業利益への影響	+ 33.2

為替感応度（2024年通期予想） 1円円安による売上高/営業利益の影響額

（単位：億円）

	売上高	営業利益
USドル	+ 7.0	+ 2.8
ユーロ	+ 4.0	+ 0.2

設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)

	2023年	2024年				2024年
	実績	前回予想 (5/14)	今回予想 (8/8)	対 前年	対 前回予想	上期実績
設備投資額	91	230	230	+138	-	62
減価償却費※	126	140	140	+13	-	65
研究開発費	204	226	226	+21	-	111
(対売上高比)	7.0%	7.0%	7.0%	-	-	7.8%

※のれん償却費含む

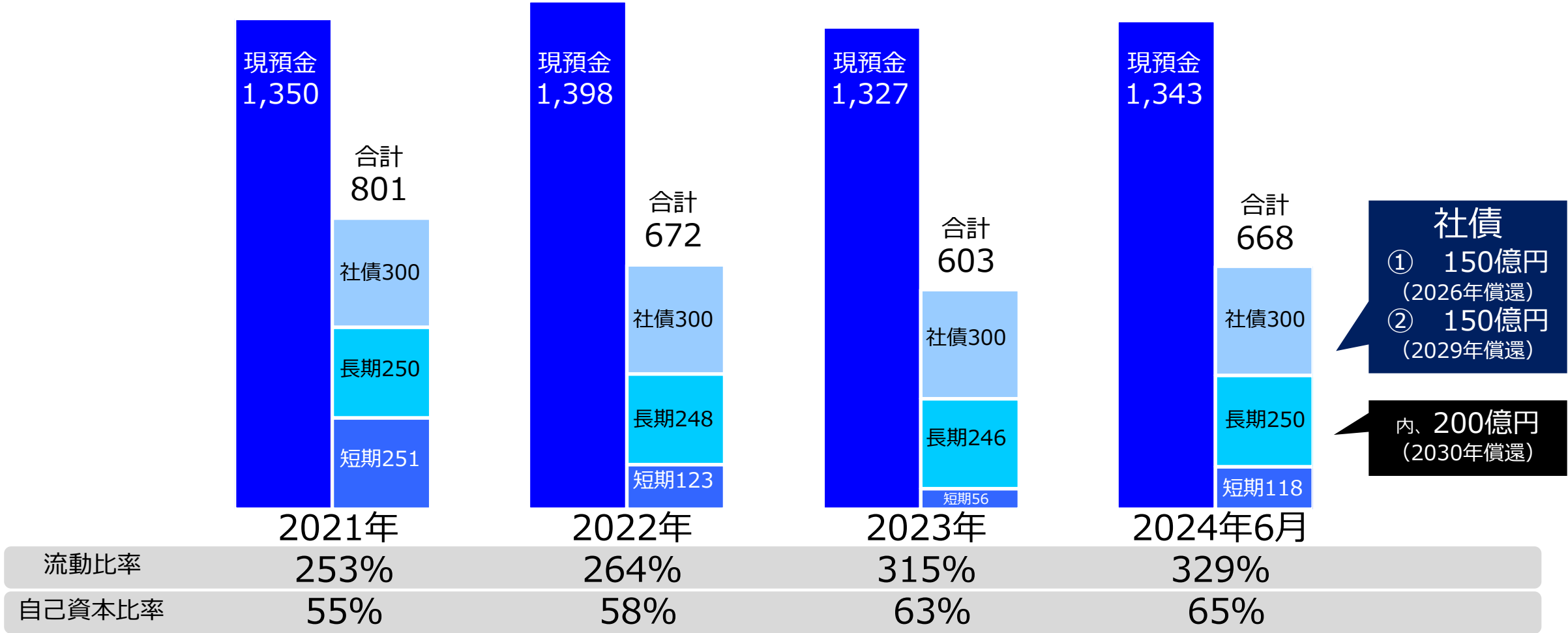
2024年
トピックス

■

有形固定資産
京都福知山テクノロジーセンター新棟
京都福知山工場など

資金の状況

(連結ベース、各期末)
(単位：億円)



・直近の格付け：R&I 「A」 (2023年9月)、JCR 「A+」 (2023年9月)

株主還元政策

基本的な考え方

- 配当金 = 連結純利益×30%を目途
- 投資機会と資金状況等を総合的に勘案し、特別配当や自己株式の取得を機動的に実施

配当金

- 2022年実績 245円【中間 65円、期末 180円】
- 2023年実績 290円【中間 80円、期末 210円】
- 2024年予想 265円【中間 80円、期末 185円】 ※期首予想より変更なし

自己株式の取得・消却

- 取得期間 2024年2月15日～2024年4月23日
- 取得株式総数 334,500 株
- 株式の取得価格の総額 約50億円
- 消却日 2024年6月5日
- 消却株数 299,500 株

ご参考

[参考]2023年実績/2024年予想【半期ごと】

(単位：億円)

	2023年実績			2024年		
	上期	下期	通期	上期実績	下期予想	通期予想
売上高	1,311	1,594	2,905	1,427	1,782	3,210
自動車	305	498	804	386	553	940
環境	113	136	249	117	197	315
医用	155	170	326	163	181	345
半導体	562	566	1,128	572	617	1,190
科学	174	222	396	187	232	420
営業利益	178	294	472	186	333	520
自動車	▲ 21	33	12	▲ 11	41	30
環境	9	14	24	1	23	25
医用	1	4	6	▲ 4	9	5
半導体	186	218	405	202	232	435
科学	2	22	24	▲ 1	26	25
経常利益	181	301	482	192	334	527
親会社株主に帰属する 当期（中間）純利益	190	212	403	131	238	370

ご清聴ありがとうございました

☆ 最新情報はWebでも！

堀場製作所

検索



☆ お問い合わせ先

堀場製作所 経営企画室

E-mail : ir-info@horiba.com

HORIBA

本資料は当社の著作物であり著作権法により保護されております。当社の事前の承認なく本資料の全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用すること、および第三者に開示すること（口頭を含む）は無いようお願いいたします。